富士見市のサイクリングコース

市内には３つのサイクリングコースがあり、身近なウォーキングやジョギングコースとしても親しまれています。澄みきった青空のもと、さわやかな川風に吹かれ、風景を楽しみながら汗を流しに出かけてみませんか。

1 イボとり地蔵

阿蘇（あそ）神社近くにある地蔵菩薩。イボができた時は、土団子を作って供え治癒を願うことから「イボとり地蔵」とも呼ばれています。

2 砂川樋管　すながわひかん

新河岸川の増水時に砂川堀への逆流を防ぐため昭和2年に造られました。蛇島調節池ができてその役目は終えていますが、貴重な近代化遺産といえます。

3 水越門樋・山形樋管　みずこしもんぴ・やまがたひかん

上南畑神社脇の水路にあるのが水越門樋です。レンガ製で旧新河岸川の増水時に水路への逆流を防ぐために造られました。しののめの里と氷川神社の間にあるのが山形樋管（氷川樋管）です。レンガ製で、水路改修に伴って移設し保存されています。市内に現存するレンガ製樋管は明治37年（1904年）に造られたこの２つだけで、市指定文化財となっています。

4 むさしの作業所

入間東部むさしの作業所の花畑。施設で栽培した草花の直売も行われています。

5 コスモス街道

秋には、木染橋付近から上流へ１km近くに渡り、コスモスの花が咲きます。

6 寺下商店会

中間に位置する寺下商店会。商店街のマスコット「てらちゃん」が出迎えてくれます。

クリングコース

川越と江戸をつなぐ流通の大動脈、新河岸川

江戸時代の新河岸川は「九十九曲（くじゅうくまが）り」とも呼ばれる蛇行した河川で、川越と江戸をつなぐ流通の大動脈として地域の物資や人が集まり大いににぎわいました。現在の直線的な流路は、大正～昭和初期にかけての埼玉県による大がかりな河川改修によるものです。

7 水神碑　すいじんひ

市内の水神碑は新河岸川沿いに多く見られ、漁業のほか舟運に関わって建てられたといわれています。